

鳥海の子

～明るく・かしこく・たくましく～

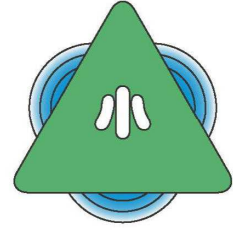
令和6年度 学校報 No.13

文責 校長

コミュニティ・スクールだより

由利本荘市立鳥海小学校

令和6年 6月21日



プール清掃 完了!

プール集会

6月17日(火)、朝活動では体育委員会がプール集会を行いました。体育委員のみなさんから7問のプール〇×クイズが出されましたが、なんと全校児童が全問正解となりました。「安全で楽しいプール学習を行いましょう」と体育委員会のみなさんから呼びかけがありました。安全で楽しいプールのための当たり前を全校で確かめることができました。

4～6年生のみなさん ありがとう

午後からは、上学年のみなさんでプール清掃を行いました。プールの残り水には、オタマジャクシ、アメンボ、マツモムシ、ミズカマキリ・・・と水生昆虫がたくさんいました。はじめはドキドキ、慎重な作業でしたが、時間が経つにつれて仕事運びも順調になりました。一人一人が自分の役割を熱心に取り組んでくれたおかげで、きれいなプールになりました。満水に向けて少しずつプールに水をため、水質検査などの安全確認を済ませてからの水泳学習開始になります。

熱中症予防のために

気象庁の天気予報によると、今年の夏も昨年のような猛暑が予想されていました(5月21日)。熱中症警戒アラート(気象庁)に基づいてプールの使用可否を判断していきたいと思えます。昨年は8月中旬以降、猛暑のために屋外活動が危険な状態でした。そこで、今年例年より1週間早めのプール学習開始として、水泳学習は7月末までの実施を予定しています。同じく、熱中症予防対策として、夏休みのプール開放は7月25日(木)から8月9日(金)までの期間、午前9:30～11:30として、それに合わせたスクールバスの運行を予定しています。

プール集会〇×クイズ(体育委員作成)

- ① ちよつとだけ咳や鼻水が出る場合は、がまんしてプールに入る
→×:少しでも体調が悪いときはプールに入られません。
- ② 水着に着替えたとき、脱いだ服はランドセルに入れる。
→×:ランドセルではなくプールバックにしまいましょう。
- ③ プールにはビーチサンダルをはいていく。
- ④ プールに入る前、めんどくさくてもきちんと準備体操をする。
- ⑤ プールに入るときは慣れるために素早く飛び込む。
→×:足からゆっくり入ります。
- ⑥ プールの中は気持ちがいいので友達とふざけたり溺れたふりをしたりしてもよい
→×:ふざけることは絶対ダメです
- ⑦ プールの授業が終わったらプールの中で体をよく洗う。
→×:体はシャワーで洗います。スイムキャップも忘れずに。

自転車乗りの約束 確認してください

4月15日付けて配付した自転車点検表にも記載していますが、法律〔道路交通法第63条の10〕のもと、小学生が自転車に乗るときは、保護者は子どもにヘルメットをかぶらせるよう努めなくてはなりません。

ところが、最近、「小学生がヘルメットをかぶらずに自転車に乗っている」「約束が分かっていないのでは？」などの情報が学校に届いています。お子様、近所の子どもの様子はいかがでしょう。命を守るための約束です。後悔が先に立つことがありません。ご家庭でも自転車に乗るときヘルメット着用徹底について見届けとご協力をお願いいたします。

また、自転車の乗車範囲について、鳥海小学校では以下のようにめやすを設定しています。自転車に乗る技術、交通安全に対する判断力等を想定してのめやすです。鳥海地区は国道を利用する交通量が多いので、安全を第一に考え、乗車の範囲や自転車の利用の仕方について、ご家庭でのご指導をお願いいたします。

〔 自転車の乗車範囲のめやす 鳥海小学校 〕



〇1年生・2年生…家のまわり、敷地内

〇3年生・4年生…となりの地区まで

〇5年生・6年生…自分の住んでいる直根、川内、笹子の旧学区～となりの学区内

本海流鳥海獅子舞伝承倶楽部



19日(水)に4年生、5年生がまい一れで高**館長から「本海流鳥海獅子舞伝承倶楽部」への一歩となる体験学習を行いました。獅子舞(お囃子)に使う道具の獅子頭、太鼓、笛、鉦を確かめ、川内小学校6年生が以前の生涯学習発表会で発表した映像を視聴した後、太鼓の構え、たたき方を練習しました。

太鼓をたたく位置とバチの持ち手でスク、ドン、タン、キツという音の違いを習いました。はじめは「ドン」と一音をそろえることもやっとでした。(つい、自分の音を確認したい子が多数)練習するうちに、練習する節をロずさみ、「ドンスク ドンドン キットン ドン」と一節もそろいました。翌日、「お母さんも、お囃子やっていたんだよ」と教えてくれる子がいました。残念ながら貝沢からうすからみの体験はできなくなりましたが、鳥海には様々な民俗芸能があることを改めて学ぶ機会になりました。



水難事故防止を!

18日(火)午後3時20分頃、海開き前の潟上市の海水浴場近く海岸で遊泳していた中学生5名が沖に流され、駆け付けた五城目署員に救助され、救急搬送される事故がありました。自分の命と安全を自分で守ることとともに約束を守ることができるよう、改めまして注意喚起をお願いいたします。

- ①海水浴には必ず保護者等、責任のある大人と一緒にいくこと
- ②海水浴は管理人がいる海水浴場(遊泳許可区域)で行うこと
- ③強風や豪雨の前後の海や河川等に近づかないこと
- ④ため池には近づかないこと
- ⑤事故が発生したときには、学校へ速やかに連絡すること

防災教室:地震体験車

14日(金)、2年生、4年生、6年生が地震体験車に乗って防災教室を行いました。日本海中部地震、東日本大震災の揺れ、想定される南海トラフ地震など数種の地震を体験しました。ある子が「地震体験は怖くなかった。それはいつ起こるか分かっていたから。でも、もしもいつ来るか分からない中でこんなに揺れたらとても怖くなる…」と発言しました。まさにその通り。大雨、洪水は予測できる自然災害と言えますが、地震は予測できないから心構えて対応する必要があります、と消防署員の方が教えてくれました。心構えは、「落ちてきたら壊れる、けがをする物は高いところから寄せる」「地震を知る」ということでした。

防災教室で、地震を知った子どもたちでした。